

未来へつなぐ 土地利用型農業の推進

遊休農地を活用した研修用ほ場において研修生の水稻耕作

地域農業の未来へ！！

- ★ 新たな地域農業の担い手確保と技術向上
- ★ 耕作放棄地の解消
- ★ 学校給食の主食米として提供（日本一の給食へ）

就農希望者

遊休農地

県農林業の知と技の拠点
県農林技術センター
農業大学校
やまぐち農林振興公社



農業大学校への入学
研修等への参加
6次産業化

給食米の無償提供

小・中学校給食の充実
11月から開始 毎週水曜日



今年度は、3名が研修中
・農大卒業生 1名
・地域おこし協力隊 2名
※9月に新たに1名着任

市農業公社



市農業公社イメージ図

新たな担い手育成

耕作放棄地対策

【給食米の耕作】

田植え ⇒ 稲刈り



目標
・耕作放棄地の未然防止、解消
・学校給食米全量確保（20ha、100t）

集落営農法人等へ就職



株式会社 ファーム大道
農業大学校
土地利用学科1期
令和7年4月
卒業生1名入社

土地利用型農業を進めるためのほ場整備

これまでに完了したほ場整備	
地区名	面積
大道北	113ha
岩淵	34ha
小俣	24ha
上り熊	39ha
下津令	43ha
上田真鍋	75ha
6地区	328ha

